



■ 校長室の窓辺より ■

1 学期終了

71日間に渡る1学期が、今週末で終了します。この間、子どもたちは、雨の日も日差しの強い日も、また、気持ちののらない日も、多少体調の悪い日も、頑張って登校してきました。私は先ず、そんな子どもたちのがんばりを讃えたいと思います。更に、保護者・地域の皆様方のお力添えにより、子どもたちが事故や大けがに見舞われること無く、無事に夏休みを迎えられることも、私にとりましては大きな喜びであります。本当にありがとうございました。黄色い帽子とランドセルが、何ともぎこちなかった新入児童が、今では紛れも



【外部講師の講話を必死に記録する6年生】

なく押杜っ子の1年生へと成長しました。林間学校・修学旅行と、親元を離れ、宿泊学習を経験した5、6年生の表情・態度は、とても頼もしく、りりしい表情となってきました。さて、来週からの8月24日（木）までの32日間、子どもたちは待ちに待った夏休みに入ります。そして、この間、家庭・地域が、子どもたちの生活・学習・成長の場となります。子どもたちの夏休みが、楽しくも充実したものとなりますよう、引き続きの見守りと御指導を、宜しくお願い致します。

その一方で、年度はじめに掲げた「もっと もっといい学校」に、押原小学校としてどれだけ歩みを進めることができたか。成長過程にある356名を274家庭からお預かりし、19クラスを総勢36名の教職員で指導するものですから、一律的な評価は難しいことは分かっています。しかしながら、子ども・保護者・地域の皆様方との、最低限のお約束である“安全・安心”が保障された学校の創出がどれだけできたか。学校経営、学年経営、学級経営の視点から全教職員で振り返り、2学期に備えたいと思います。

今年は、学校創立140周年、コミュニティ・スクール10年目の節目の年ということもあり、色々な取組を行っています。折々にブログで御紹介したり、新聞・テレビ等で報道していただいたりもしたので御案内の方も多いかと思います。この後、御報告する“押杜っ子CLUB”や4年生の学校泊を伴う“防災教室”、そして5年生のスペシャル外部講師を通年で招き実施している総合の取組・“環境教育”



【多くの方に御参加頂いた

押杜っ子を守る会協議会】

は、その代表的なものです。これ等の取組は主に、地域との連携・協働をねらいとした取組であると共に、子どもたちにとって「魅力のある学校」の創造を目指した取組でもあります。2学期には5年ぶりに開催される、“ふるさとふれあい祭り”に、学校をあげて、授業として再び参加することになっています。そのようなこともあり、1学期の取組をしっかりと振り返るとともに、2学期以降も「魅力のある学校」に近づく事ができるように、振り返りをしっかりと行っていきたいと思っています。

これまでに頂戴した本校教育活動に対する御理解・御協力に深く感謝申し上げます。有難うございました。2学期以降も、宜しくお願い致します。皆様、時節柄、御身呉々も御自愛ください。



令和5年度 修学旅行

6年生は、6月28日(水)～30日(金)の日程で、修学旅行を実施しました。今年は、班別の鎌倉散策を復活させたり、東京ディズニーランド訪問を3日目に組み入れたり、コロナ流行以前の行程に戻して実施することができました。主な訪問地は次のとおりです。〈1日目〉江ノ島水族館・鎌倉散策・イタリアンレストランでテーブルマナー・東京プリンスH〈2日目〉国会・隅田川クルージング・日本科学未来館・オリエンタルH東京ベイ〈3日目〉東京ディズニーランド。最終日・30日、山梨は朝から雨だったとか。千葉県浦安市は曇りで、昼食時前の1時間程、パラ

ラ雨が降った程度で、子どもたちはお楽しみに水を差されることはなく、“夢と魔法の国”を十分に楽しむことができました。そんな中、昼食場所での出来事。子どもたちの昼食を見守っていた時、私の背後、子どもの声で丁寧な「有難うございます」の音が……。何かあったかと思い振り返ると、本校男児児童が、食べ終わったトレイをキャストの方に手渡していました。きっと、キャストの方が、子どもに手をさしのべて下さったのでしょうか、物怖じせず、しかもしっかりと丁寧にお礼を述べた本校男児。私がお礼を述べたその男児を誉めたのは、言うまでもありませんが、押杜っ子、誠に立派でした。

人権教育・バルーンリリース

6月21日山梨県人権啓発活動ネットワーク協議会様(本校担当:坂本武徳様[押越区])主催の『『人権の花』運動』が、本校で開催されました。子どもたちに優しい心が育つようにと「人権の花の贈呈」をしていただいたほか、保護者の皆様にも御協力をいただいた「人権メッセージ」と花の種を付けたバルーンのリリースもさせていただきました。2人で1つのバルーンリリース。心をついにリリースするため、僣越ながら私が「5・4・3・2・1・Go」とカウントダウンの音頭をとらせていただきました。



「Go」となり180個のバルーンがリリースされた瞬間、期せずして子どもたちから「ワー」という歓声が上がりました。私は、それこそm&m(←商品名で恐縮です。例のチョコ)を大空のキャンバスにちりばめた様に飛んでいく、カラフルなバルーンを眺めつつ、なぜか瞬時に、まみえたことのない、名も知らない、戦時下・非人道的環境下にあるかの国の子どもたちに思いを馳せました。そして、休まず上へ上へと上昇するバルーンに356名の子どもたちの人生を思い、幸多かれ!と、思わず祈らずにはいられない気持ちになりました。ちなみにバルーンのその後ですが……。埼玉県比企郡小川町、同郡吉身町、埼玉県北本市、そして茨城県守谷市の方から、「花の種が届いた」とのメールを頂戴しました。実は、個人情報保護、セキュリティ確保の観点から、メッセージカードには昭和町立押原小学校の印は押しましたが、住所やメルアドなどは記しませんでした。即ち、御連絡を頂いた皆様方は、子どもたちのことを思い、お忙しい中をパソコンで本校を検索下さり、そしてわざわざメールを送って下さったのでした。これこそ、人権教育の真髄・人を思いやる心のお手本と、感激した次第です。押原小教育は多くの方々を支えられている。本当に、有難いことです。

押杜っ子CLUB

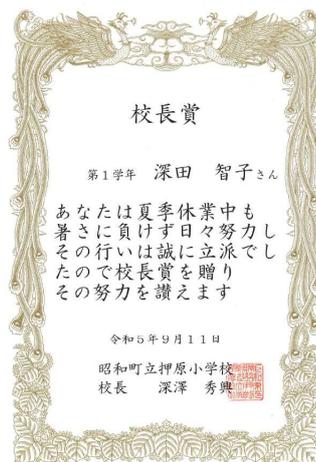


地域との連携・協働を一層推進する取組「地域学校協働活動」の促進を図る本校はこの夏、新たな試みとして「押杜っ子CLUB」を開設します。これは、町長さんの教育施策である“子どもの居場所づくり”を目指すと共に、優れた技能をお持ちの保護者・地域人財を、本校教育活動に取り組みようという試みでもあります。神谷広員様にはお菓子(マフィン)作りを、塩澤政博様には畳について、福田聖子様には茶道をそれぞれ御指導いただく他、皆川千香子様にはダンス教室を、小林康博様にはプログラミング教室を、そして伊藤円様には水泳教室を開設していただきます。この他、卒業アルバムでお世話になっているPhoto Studio小宮山様にはタブレット型端末機を用いての写真の撮り方について、更に駿台甲府高校美術デザイン科の皆様には、上手なイラストの描き方についてご伝授いただくことになっています。はじめの一步となります今年度は手探り状態なので、定員を設けるなど、まだまだ検討の余地を残してのStartとなりますが、89名の児童が、経験の夏・体験の夏に船出します。

校長賞

今年の夏も設けます

日々真面目に努力している子どもに光が当たるようにしたい。規律有る充実した夏休みを過ごしてもらいたい。小学校生活、少なくとも1度は、賞状を授与された経験を、全ての子どもにもたせたい。親子の絆も深めてもらいたい。こんな諸々の思いをこめて、この夏も“がんばる子どもに「校長賞」”実施します。今回の校長賞も、「決めた時間までに起きる・寝る」、「毎日1つ、家のお手伝いをする」、「毎日、決まった時間以上、学習をする」など、7つのルールを、概ね8割程度達成できたことを条件に、親の推薦状があった児童、全員に対して校長賞を授与します。賞状は右の写真のように、金で縁取りされた立派なものを用意します。是非、全員が“校長賞”を授与されるよう、家で頑張ってもらいたい。



【重要】お知らせには、「7ルール」のルール6として「地区主催のラジオ体操には、全日参加する」という条件が入っています。参集型ではなく、リモート型（自宅で実施）でのラジオ体操を実施する地区に於いては、御自宅にて取り組んでください。

【7～8月】の主な予定

7月

22日(土) 23日(日) 4年・防災宿泊体験教室
 24日(月)～8月24日(木) 夏季休業日
 ほたる学舎① 押杜っ子C(菓・日)
 25日(火) ほたる学舎② 押杜っ子C(イ・写)
 26日(水) ほたる学舎③ 押杜っ子C(夕・ブ)
 27日(木) ほたる学舎④ 押杜っ子C(水)
 28日(金) ほたる学舎⑤ 「杉浦医院」学習会
 31日(月) ほたる学舎⑥

8月

1日(火) ほたる学舎⑦ 図書館閉館日
 2日(水) 3日(木) 青少年赤十字宿泊研修
 4日(金) 図書館閉館日
 10日(木) 図書館閉館日
 11日(金) 山の日
 14日(月)～16日(水) 学校閉庁日
 21日(月) ほたる学舎⑧

22日(火) ほたる学舎⑨ 図書館閉館日
 23日(水) ほたる学舎⑩
 24日(木) 夏季休業日最終日
 25日(金) 2学期始業式 一斉下校11:40
 28日(月) 発育測定(1・2年) 半日日課
 29日(火) 給食開始 発育測定(3・4年)
 避難訓練
 ～9/1日(金) CS夏休み作品展
 30日(水) 発育測定(5・6年)



【9月】の主な予定

1日(金) 委員会活動
 スクールカウンセラー来校
 2日(土) PTA早朝作業
 4日(月) 運動会特別日課
 7日(木) CSクリーン活動(朝)
 8日(金) PTA学校委員会
 13日(水) SDGsの日 集団下校
 スクールカウンセラー来校

18日(月) 敬老の日
 22日(金) 運動会前日準備
 1～4年(4時間授業)
 5・6年(準備)
 23日(土) 秋分の日・秋季大運動会(半日)
 25日(月) 繰り替え休業日
 27日(水) 4時間授業
 28日(木) 4年校外学習
 * 詳細は学年だより等で、御確認ください。

まだまだすごいぞ 日本人！

— 本校女児のピンチを救った、名も告げずに立ち去った日本人 —

修学旅行2日目の朝を、子どもたちは東京プリンスホテルで迎えました。

窓を開ければ眼下に、芝公園の緑が、朝日に輝いていました。



一方、情報を得ようとテレビをつけると、民放がニュースとして頭から、強盗事件、有名人による母親の自殺ほう助事件・霊媒師と称する女性の母親殺人を、続けざま報道。いったい、日本という国はいつからこんな国になってしまったのかと気が滅入ると共に、一人の大人として、教員として、子どもたちもそれぞれの部屋で、朝からこんなニュースを見ているのかと思うと、何ともいたたまれない気持ちになりました。

そんな中、前日、班別散策を行った鎌倉で、「まだまだすごいぞ日本人」と思わせる様な、本校女児のピンチを救い、名も告げずに立ち去った日本人との遭遇がありましたので、【修学旅行報告・番外編】として、お話しします。

それは、1日目の鎌倉散策のゴール地点、鶴岡八幡宮境内・太鼓橋での出来事。小町通りでの買い物を終え、三々五々集合してくる班を出迎えていた時の事です。一人の女児が不安げな表情で私に近づき、「校長先生、財布が見当たりません」と告げました。(ちなみにこの時、担任は最終チェックポイントから戻ってきてはいませんでした。)早速、女児に、散策時に背負っていたリュックサックやお土産袋の中を、よく探す様に指導しました。そして、私も、更に女性添乗員さんにも手伝っていただき、何度もそれらの中を探しました。しかし、やはりお財布はありませんでした。そこで、「最後にどこで買い物をしたか覚えている？」と尋ねたところ、「覚えている」と答えたものですから、“置き忘れ”に一途の望みをかけ、歩いた道を逆コースで、その店まで2人でたどることにしました。クラスメイトが「●●ちゃん、絶対あるよ」と、口々に励ましてくれます。ところが、女児の顔は心なしか青白く、表情もこわばっています。それはそうです、財布にはほぼ手つかずのお小遣いが残っていたのですから。私は、有らぬ限りの励ましの言葉をかけ、道に落ちていないかと下も見ながら、かの店に向かいました。そして、その店の店員さんに、首に掛けていた名札を見せつつ事情を話し、お財布が届いていないかを尋ねました。するとその店員さん、私の話が終わるか終わらないかのタイミングで私の話を遮り「もしかして、お財布ですか？」と、切り返してきました。そうです、女児の財布はそのお店にあったのでした。正確には、女児が商品の上に置き忘れたお財布を見つけ、店員さんに渡してくれた日本人のお客様がいたのでした。聞くとその方、「住所等を・・・」という店員さんの問いかけに答えること無く、財布だけを手渡し店を出られたとのことでした。女児の表情が一気に和らぎ、心なしか頬がピンクに染まった瞬間を、私は見ていました。そして、財布が見つかった喜びと、少女が落胆から開放された喜びと、更に“日本人もまだまだ捨てたものではない”という誇りと喜びとで、思わず涙が出そうになりました。先ほどとは比べものにならない軽い足取りで、皆が待つ八幡宮に向かいましたが、そこでその女児が、私



にぽつりと「皆に迷惑かけちゃったな」つぶやきました。女児は、自身の安堵以上に、自分のことを気に掛けてくれた、クラスメイトの事を思っていたのでした。私は、こういう女児だからこそ、神様は女児を救われたのだらうと思いました。私がお後、バスの中で子どもたちに、一連事、女児のこと、すごい日本人のこと、クラスメイトの励まし等を語ったのは言うまでもないことです。読者の皆様、子どもの名誉もありますので、女児の心の清らかさは讃えつつも、「誰？」とは決して詮索しないであげてください。お願いします。